

令和8年2月17日
道路課 道路安全推進室 交通安全・市町道担当
担当者 九重・三瀬
内線 2639 直通 0952-25-7156

“7さいめせんのこうつうあんぜん” 通学路点検を実施します

佐賀県では、年齢別の歩行中交通事故死傷者数について、7歳が突出している現状を踏まえ、『7さいめせんのこうつうあんぜん』事業に取り組んでいます。

大人と子どもで異なる目線や行動特性を考慮しながら、道路の点検・対策を行い、誰もが安心して歩くことができる環境づくりを目指しています。

子どもの視点や特性も踏まえた点検・対策マニュアルの作成に向け、今回、モデル地区の通学路で、学校関係者や警察関係者などが専門家とともに点検を実施します。

記

- 実施箇所：佐賀市立兵庫小学校周辺
- 実施日：令和8年2月24日（火曜日）13時30分～17時予定
 - ・13時30分～14時30分：概要説明
 - ・14時30分～15時45分：現地点検
 - ・16時～：点検結果とりまとめ、会議
- 集合場所：佐賀市兵庫公民館大会議室1（佐賀市兵庫町渕1295）
- 参加機関：佐賀大学教育学部、兵庫小学校、佐賀県警察本部、佐賀北警察署、佐賀市、佐賀県
 - （こども未来課、くらしの安全安心課、佐賀土木事務所、道路課）
- 点検路線：県道薬師丸佐賀停車場線、市道若宮西中野線ほか
- 過年度点検状況：7歳目線（身長120センチメートル程度）にしゃがんで点検



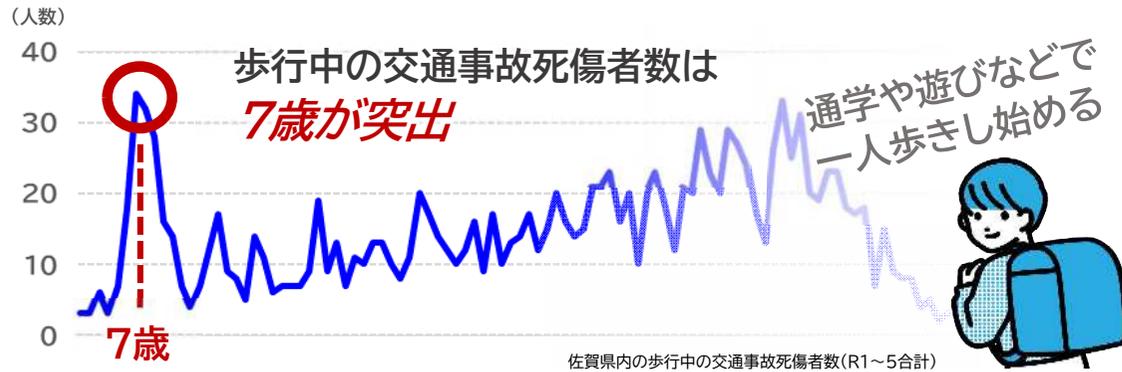
令和7年度 "7さいめせんのこうつうあんぜん"通学路点検ルート



7さいめせんのこうつうあんぜん

背景

歩行中の交通事故死傷者数は7歳が突出している現状を踏まえ、令和7年度から新たに「7さいめせんのこうつうあんぜん」対策に取り組めます。



取組

大人と子どもの目線や行動の違いを踏まえた道路の点検や対策を行うことで、誰にとっても安全な歩行空間の確保につなげていく。

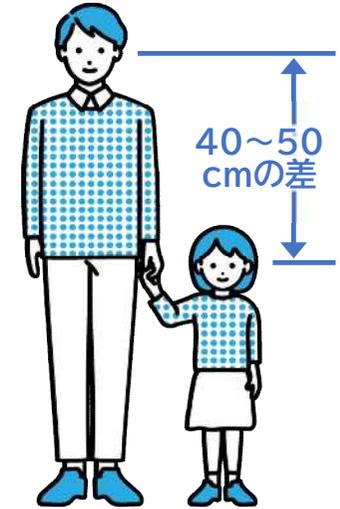
令和7年度は、2市町でモデル地区の点検を実施し、子どもの行動特性を言語化してくれる専門家等の意見を踏まえながら、子ども目線を取り入れた点検・対策マニュアル等を作成する。

例えば、横断歩道周辺の街路樹



こどもの歩き方

- 大人と子どもの目線の違いにより、物の見え方が異なる。
- 側溝をのぞき込む、縁石の上を歩くなど、子どもならではの特性がある。



作成したマニュアルは、地域ぐるみで活用し、点検、事例収集を行い、マニュアルの改善・強化を図っていく。